

広島みらいづくり2011

立候補予定者公開討論会マニフェスト

【～みんなで共に考える広島のみらいづくり～】

氏名 とよだ 麻子



I 基本理念『広島市政の現状認識・目指すべき広島市の姿』

(現状認識) 広島市には、創造力・技術力・やる気のある企業、豊かな食文化・芸術文化・観光資源、平和を希求する人々の熱い思い、エネルギーのある人、多くの魅力があると思います。しかし、現状は、これらの魅力が、必ずしも最大限発揮されている状況にはないと思います。市民の方々が、持っている力をフルに発揮できる環境作りが必要だと思います。

(目指す姿) 広島市の持つ、大きな魅力を、発揮できるよう、広島県・広島市ともしっかりと連携し、市民の方々、企業、関係団体、学校・大学の方々、地域一丸となって、市民の方々ひとりひとりが主役の“チーム広島”として、“元気な広島”をみんなで作っていきたい。また、しっかりと市民の方々と「対話」を行い、その「対話」に基づいて「行動」する広島市政をめざしたい。

II 短期で行う重要施策(1年以内) ※優先順3つ

- ① 広島の中小企業の新しいビジネス展開や海外展開を私人的に支援するため、市、県、国、金融機関、関係機関、企業のビジネス展開に詳しい有識者等からなる、“**広島ビジネス戦略チーム(仮称)**”を設置します。
“**中小企業振興条例(仮称)**”の策定に着手し、中小企業の活動を支援するとともに、雇用の創出に努めます。
- ② 8月6日の平和記念日における「平和宣言」に関して、市民の方々、有識者等からなる“**平和宣言起草委員会(仮称)**”を設置し、市民の方々と議論を行い、策定します。被災体験の継承と平和教育の推進に取り組めます。
- ③ 広島を明るく元気にぎわいのあるまちにするための“**にぎわい創出基金(仮称)**”の設置と、広島県や周辺市町村と連携し、世界を魅了する“**広島観光ブランド戦略**”の策定に着手し、推進します。

III 中期で行う重要施策(4年以内) ※優先順3つ

- ① 市民と区役所との協働により、コミュニティ活動を再生し、**市民の安全・安心な暮らしをサポート**します。日ごろから地域のコミュニティ活動の中で、地域と市役所・区役所、関係機関と連携して、災害等への対応に備えるような体制作りを進めます。
- ② “**小学生・中学生の医療費の無料化**”を実現します。子ども、保護者、先生が安心して活動できるよう、**スクールソーシャルワーカーの全校への派遣**をはじめ、学校、教育委員会、市、関係機関と連携し、体制を強化します。**保育園の特待児童ゼロ**を実現します。障がい者の雇用拡大のための取組と雇用の促進を図ります。
- ② ICT(情報通信技術)等の導入により、市役所・区役所の窓口業務について、複数の手続きを1か所で行うことが可能となる“**ワンストップサービス**”を実現します。一方、福祉分野に対しては、しっかりした相談体制がとれるようにし、“**めりはりのある市民サービス**”に努めます。

IV 長期で行う重要施策 ※優先順3つ

- ① ICT等の分野をはじめ、各分野において、大学や企業と連携して、世界に通じる**人材の育成**を推進します。経済・産業等の分野で、広島にしかない、“**広島強み**”を地域に根付かせ、世界に向けて、発信していきます。
- ② 国内外4500都市が加盟する**平和市長会議の活動**を、さらに発展・強化し、世界の市民、NGO等と連携し、**核兵器廃絶に向けた大きなうねり**を作り、国連機関や各種団体に働きかけます。
- ③ 年齢、性別、障がいの有無、国籍等を超えて、すべての市民が生き生きと自分らしく暮らせる、**バリアフリーのまちづくり**を推進します。

プロフィール

氏名 とよだ 麻子 (あさこ)

【生年月日】 1966年3月18日

【経 歴】 1990年3月 東北大学大学院修了
1990年4月 郵政省入省
1995年7月 ハーバード大学国際問題研究所研究員
1997年7月 郵政省放送行政局放送政策課
2000年5月 在フランス日本国大使館一等書記官
2003年8月 総務省総合通信基盤局国際部国際協力課
2005年8月 (独)情報通信研究機構拠点研究推進部門
テストベッド推進室長
2008年7月 **広島市副市長及びCIO (最高情報責任者)**
2011年2月 広島市副市長及びCIO (最高情報責任者) 辞任

【趣 味】 サンプルチェ広島観戦、テニス